

【高齢者の現状 2 4】

東海社会福祉科学研究所

大北 秀雄

3 高齢者が生きる

(7) 危機管理③

高齢者の介護を考えると、多くの問題点・課題が山のように見えてきますし、その解決策があるのかどうかははっきりしていないのが現状ですし、考えることが難しい状況でもありますし、将来のことが見えているようで見えてこないのも事実ですし、今の時間・明日の時間の保障がされているのかも判らなくなってしまうことがあるのも事実です。

戦後の教育、時代の流れを考えて見て、民主主義の社会で生活を行っていることは分かりますが、個人として充分に楽しい生活が保障されているのか、義務と権利から見て充実した時間が可能なのか、社会と個人の関係から生きることが前向きになるのかなどいろんなことが考えられますが、いつも不安なことが多くあります。

不安を持たないように毎日を楽しく生きていくことは、簡単なようで難しいことですが、心がけて生活をするのが一番の生活態度ではないかと実感します。前に向かって進んでいくことを基本にしながら、時間とどのように向き合っていくかが必要な時代になっています。

今の時代考えかたによっては、多くの人が心に大きな悩みをもって生活を送っているのではないのでしょうか、生活に負けると、自殺や生活からの逃避、問題を起こしてしまうなど、現実には振り回されている人が多く存在することは事実です。そんな中においても、毎日生きていることを強く感じながら生活できれば、それは素晴らしい人生だと思いますが、その境地に行くことも中々難しいのが現実であり、何となく負けたような気持ちや、情けない気持ちで生きているようでは寂しいですから、そのことに前向きに当たって行くことに心がける必要があります、そこに何か答えが見つかるかもしれません。

生きる強さを持って生活を行うことは、人がいうような簡単なものではないかもしれませんが、人間として生まれてきたのですから、何かを掴みとることに動くしかありません。人や社会が悪いということでは恨み、人に迷惑をかけることのないようにすることが大切です。現実には何となく悩み、思い込んでしまうことも多いようですが、その時に落とし穴に落ちてしまうことのないように複雑に考えることを止め、一つ一つ整理して、生きるためは何をし、何を考え、何を信じて生活するのかを基本に考え、足元から見つめ、一つ一つ階段を上がるように作業をすることから始めてください。そのことについての省略をしない生活を日常心がけてください。